

地域おこし協力隊 安田さんと野田さん

自然を観るお誘いフォトブック

「Expedition～地球のエッセンシャルワーカーズ」発行

第1号はポロトの森の分解者たち

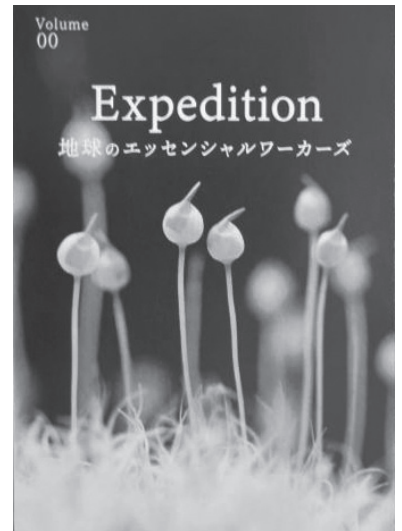
「身近な自然の魅力を知る、発信するには、まずは調査・観察から」と考え活動する安田裕太郎さん（観光振興担当）と野田和規さん（森林ガイド担当）の2人。白老の自然を撮りためた1万枚以上の写真から、キノコや粘菌、コケ、落葉などポロトの森の分解者たちにスポットを当て約60枚を厳選し、文章をつけまとめました。A5判、120頁、500部製作。同号はモノクロにし、無料配布の試作品として完成させました。

染料にもなる青い光を放つロクショウグサレキン、半透明なキノコ、幾何学的なデザインのツチグリ、落ち葉に生える1ミリの極小キノコ、つつくと胞子を爆弾のようにまき散らすタヌキノチャブクロ…と、知っているはずのポロトの森を別世界のように紹介しています。



安田さん、野田さんは「森の美しさを“観る”動きをしてもらいたい。そのための視点を提供していきます」と、今後はいろいろなジャンルや場所に特化した同誌を有料、カラー化する予定と言います。

既に沖縄や礼文など全国、全道から問い合わせがある同号はInstagram：@mimori_yasouまたはEメール：info@nodateyasou.lifeに連絡し入手可能。



OB編

地域おこし協力隊通信



林啓介さん(41)
合同会社WakuWaku 代表取締役

2020年度、協力隊任期満了した林啓介と申します。任期中は温かく支えていただき大変感謝しております。ありがとうございます。皆さまのおかげで、暮らしを体験できる民泊の運営、スーパードの買い物など暮らし体験ツアー、飲食店「グランマ」運営参画、シェアオフィス運営、国際交流、商品開発などさまざまな事業を構築することができました。現在も白老町に拠点を置き、先述事業に加え国内外での講演、地域事業構築なども行っております。

「生活感幸」を大切にしながら、多くの町民と共有し笑い合う



んあることに気づきます。責任感、趣味、技、体験談に笑いもセットで教科書よりも感じやすいです。小さな魅力を引き出し、楽しみ、「結果的に」多くの方々と共有し笑い合い、自然と積み重ね、ここに住む、関わる方々の個性が白老町を創り、人がいて町がある姿を私は体現していきたいと思っております。昨今は観光が重視されがちですが、生活を感じ幸せになる「生活感幸」を大切にしながら、これからもよろしくお願いたします。

地域おこし協力隊プロフィール

～親子で囲炉裏を囲んでアイヌの物語をきく～

日時 1月7日(土) 14時～15時30分
会場 シマフクロウの家(東町3-3-4)
内容 宇梶静江さん(アイヌ方代表)による読み聞かせ、山田美郷さん(アイヌ文化伝承者)によるユカラの語りと木の皮ストラップ作り体験。
定員 親子10組(要予約)、参加無料
申し込み・問い合わせ ☎070-2642-6587か、Eメール(inuiaina@gmail.com)へ。

～親子で楽しむコンサートnincup(ニンチェプ)～

日時 1月28日(土) 13時30分
会場 しらおい創造空間「蔵」
内容 アイヌの伝統歌や舞踊を取り入れた物語性あるライブを披露します。
定員 50人(要予約)、参加無料
共催 しらおい親と子の劇場
申し込み・問い合わせ ☎070-2642-6587

ともに主催：地域おこし協力隊 乾藍那